

上ノ村環境保全プロジェクト【津市白山町上ノ村地区】

- **全員参加を基本**に、獣害対策や水路補修等を共同で行う体制を構築し、**獣害被害を大幅に削減!**
- 「皆で楽しむ地域づくり」をモットーに地域づくりの輪を広げ、**大学・企業との連携に発展!**

取組地域の概要

津市白山町上ノ村地区は、青山高原の東山麓に位置する中山間農業地域である。地域農業の中心は水稻で、家庭菜園による野菜も栽培されている。兼業農家が大半を占め、地域外の生産者に作業を受託している世帯も多い。



親子での大豆栽培の取組

取組の背景

農業者の高齢化等により、農業関連施設の管理が困難になるとともに、獣害被害が増加したこともあり、遊休農地の拡大が課題となっていた。むら存続に危機感を持つ自治会有志が中心となり、40年ぶりとなる盆踊り復活を契機として、将来の話し合いを進め、平成21年に農地・水環境保全向上対策を行う組織として上ノ村環境保全プロジェクトが発足した。

取組のポイント

ポイント1 丁寧な合意形成により、全員参加で田んぼを守る体制を構築

- ・ 全員参加を基本に丁寧な合意形成を進めた結果、景観づくりや水路補修等の共同作業を全員参加で行う体制を構築することができた。
- ・ 全員参加により獣害柵の設置・管理を徹底することにより、獣害の被害金額は8割減少し、安定的な農業生産を継続できる環境が整った。

ポイント2 地域づくりの輪を広げ、大学・企業など地域外との連携に発展

- ・ 地域外の方も楽しみながら農業に参加できるよう、親子で大豆栽培と味噌・豆腐づくりを体験できる「まめっこ」や、料理が得意な女性がシェフ、パティシエとなる「村のレストラン」など、地域住民がアイデアを出し合って様々な取組にチャレンジしている。
- ・ 地域づくりの輪が広がり、現在では、大学生が休耕田を使って稲作や田舎体験活動等を行う「縁結びプロジェクト」や、企業等と連携した水稻・ゴマの栽培など、多様な連携へと発展し、地域全体の活力向上につながっている。



企業の社員が田植えを実施

今後の展望

田んぼを田んぼとして守り、人が生き活きと輝ける地域づくりのため、多様な主体による多彩な取組を進めていく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県津農林水産事務所農政室地域農政課
電話 059-223-5102